

育成センターだより

令和4年度
No. 423

長野市少年育成センター
TEL. 228-8547
FAX. 224-0109

青少年の非行・被害防止全国強調月間 (7月)
青少年に有害な社会環境排除県民運動強化月間 (7月)
社会を明るくする運動強化月間 (7月)
長野市青少年健全育成環境浄化強調月間 (10月)

年度前半の育成活動

梅雨明けが待ち遠しくなりました。多くの人でにぎわった今年の善光寺御開帳が幕を閉じ、長野市街地の大きな店舗が閉店を予定するなど、人の流れの変化がこれから見られそうです。

学校では、たいへん忙しい1学期が、あと一カ月ほどと残り少なくなりました。多くの行事を経験し、一段と学級の仲間と気持ちを通わす事ができたのではないのでしょうか。そして夏休みがやってきます。

長期休み連休前後は、子どもも大人も、開放的な気分と憂鬱な気分が交錯します。子どもたちの確かな成長をみつめながら、家庭・学校・地域が連携し、環境の浄化、声かけ、非行防止に努めてまいります。



育成活動の重点

★ **スマホの使い方・ルールを親子で決めましょう**

スマホデビュー、タブレット一台の時期。最初が肝心、ルールをつくり、使う環境を整えましょう。

★ **深夜徘徊は、非行の芽**

夏は、夜間の行事が多い季節。遅い帰宅、深夜徘徊に愛の眼差し・声かけを。コンビニ前、公園・神社等に目を向けましょう。

★ **子どもの相談は、受け止め、寄り添い、語り合い**

長期休業の後は、子どもの心が不安定になりがち。相談は、聴き取り受け止め寄り添いましょう。

この社会の中で、子どもたちをどう育てるか。

長野市教育委員会 家庭・地域学びの課 課長 野池達朗

日ごろ本市の青少年健全育成活動に格別のご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本市では、青少年を取り巻く社会環境のうち、「青少年の健全な成長を阻害するおそれのある環境及び行為から青少年を保護している。」という願いを実現するため、平成15年4月に長野市青少年保護育成条例を施行し、少年育成センターを中心に関係機関・団体の皆様と連携・協力しながら青少年の健全育成活動を展開しております。

子どもたちを取り巻く環境は、インターネットやスマートフォン等の急速な普及や地域社会の変化、価値観の多様化など急激な変化が進み、いじめ、不登校、引きこもり、ネット依存、子供の貧困の顕在化など、青少年を巡る問題は、複雑化し、さらに、新型コロナウイルス感染症拡大は、私たちの生活様式を一変せました。

変化が激しく、正解のない社会の中では、一人ひとりの命や人権、個性が尊重されることがますます大切になっています。

このような中において、本市では、子どもたちが、市民の皆様と

ともに広い視野から思いやりの心を育み、自律心や豊かな情操、創造力を養い、自然と文化あふれる郷土に誇りを抱き、明日を拓くための深く豊かな人間性の実現という長野市教育理念のもと、これからの時代に必要とされる資質・能力を育むことが重要と考えています。

また、子どもたちは地域や社会の一員として、まちづくりやボランティアなど、地域コミュニティの課題解決の担い手として期待されており、地域社会は子どもたちの成長を支える重要な場となっています。

未来を担う子どもたちの育成には、家庭や学校だけでなく地域社会全体で取り組んでいくことが必要となっています。

本市といたしまして、青少年の健全育成に関わる関係機関・団体の皆様と連携・協力し、子どもたちの育ちを支えるための様々な施策を推進してまいりますので、一層のご理解、ご協力をお願いいたします。



長野駅前交番として

長野中央警察署 長野駅前交番所長

山崎 綾

日頃、皆様には各種警察活動に御理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。



さて、今日の長野駅前には、善光寺御開帳に伴って、昨年とは比較にならない程の賑わいを見せており、交番へも県内外から大勢の方がお見えになります。多くの方が不安を抱えて来所する。その心情に配慮して、皆さんが笑顔で帰っていただけるよう、個々のニーズにそった迅速かつ丁寧な対応を心がけています。

犯罪では、商業施設における盗撮やナンパ目的の声かけ等を多く認知している現状から「徒歩による警戒警らへの励行」を主眼に、通勤・通学時間帯や深夜における声かけ、職務質問を推進し、犯罪の検挙と未然防止に努めています。



ます。県都長野市の玄関口を守るべく所員一丸となって取り組んで参る所存です。皆様も活動の折には、是非当所へお立ち寄りください。

18歳から大人です

今年の4月から成年年齢が18歳に引き下げられました。それに伴い若い成人を狙った詐欺や、悪質な商法による被害やトラブルが心配されます。十分注意してください。尚、飲酒・喫煙は20歳からです。変わっていません。

大人としての契約や買い物に十分な注意を

- 保護者の同意なく、ひとりで契約が可能です。
- 大人なので取り消しは容易にはできません。
- 契約内容、契約規約は必ず読んで確認しましょう(購入や契約をする)、納得の上で行ったこととなります。
- 自分の収入に見合った買い物をする(ローンを組むにも返済の見通しを持って)。

ネットの買い物は要注意

直接お金を使わないので、気軽にできる反面トラブルも多い

インターネットに関連する相談が多く寄せられます。

- 国の消費生活センターなどに寄せられる小・中・高校生相談の7割がネット関連です。
- 保護者に内緒でオンラインゲームでの高額課金をしていた
- 興味本位のアダルトサイトで突然「登録完了」の表示が出て表示額を支払ってしまった
- 1回だけのつもりで健康食品や化粧品を注文したが、定期購入が条件でお金が支払えない
- ネット通販、フリマサービスで注文したが、商品が届かない、違ったものが届いた (国民生活センターの資料 参照)

アドバイス

- 怪しい話は、はっきりと断りましょう
- クレジットカードでの決済はよく考えて、借金してまで契約はしない
- 被害ばかりでなく、知らずに加害者になり、友人・家族に迷惑をかけたリ、トラブルになることもあります
- 慎重な行動を
- 迷ったら、決断する前に信頼できる人に相談を必ずしましょう

消費者ホットライン

いちゃ! 188

契約や買い物についての相談に応じます。公的相談窓口は他にもあります。困ったら、困る前にもご利用ください。

少年相談専門委員会発足

5月10日(火)小・中・高校から7名の先生方が専門員に推薦され、家庭・地域学びの課、野池課長より委嘱状が手渡されました。その後、第1回の委員会が開催されました。今年度は年5回の委員会が予定されています。

学校現場の事例に学び、成果や課題を各会で発表し、報告していきます。また、少年相談連絡会や生徒指導学校関係者合同研修会へ参加し、生徒指導研修を行うとともに、各専門機関との連携の仕方を探っていきます。今年も、学校種を超えた学び合いを期待しています。



少年相談専門委員会委嘱式

少年相談専門委員

- 委員長 外山 博 敏 (三輪 小)
- 副委員長 林 克 己 (東部 中)
- 委員 倉崎 知 哲 (通明 小)
- 小林 孝 宏 (豊野 西 小)
- 鈴木 智 幸 (松代 中)
- 河島 謙 造 (若穂 中)
- 小根山 大 河 (市立長野高)

はなびらき、はなびらき、はなびらき

南部小学校 教諭
学校少年育成委員

田村 友里

南部小学校は、長野駅東口から国道18号を挟み、大型ショッピングセンターや住宅地も混在する、いわゆる市街地に学区が広がっています。車や人が通りが激しい通学路もありますが、通勤通学の学生や大人に混じって、登校班の班長さんが低学年の歩調に合わせ、毎朝安全に気を付けながら登校してきます。令和4年度は、児童509名、職員37名でスタートしました。

本校でも、新型コロナウイルスの影響で、以前とは違う教育活動を工夫して行っています。昨年度の「六年生を送る会」や今年度の「二年生をむかえる会」は、たてわりクラスごとのZOOM開催を児童会担当学年が中心になって実施してくれました。全校が一堂に会せなくても、むしろ広い体育館では感じる事ができなかった各学年の発表の様子が画面越しに見られ、とても充実した会になりました。また、4月の児童総会もZOOMで行い、六年生児童が、一人一台端末を有効活用し、機器の設定や委員会ごとの発表などを行う新しい取り組みを進めています。本校では、時々お昼の放送で、「せっこーちよーちゃんねる」が



流れます。校長先生が子どもたちの活動や休みの時間を姿を撮影し、季節の行事や学習意欲を喚起するテーマを決めて放送してください。今年の入学式は、二年生以上の参加がありませんでしたが、「せっこーちよーちゃんねる」の中で、入学式の様子を全校児童に見てもらうことができました。

今年度は、全校研究テーマを「学ぶことを楽しむ子どもを育てる」と設定し、特にICTを活用した授業作りを取り組んでいます。児童とともに教職員も、タブレット端末を授業のどこでどのように使っていくかを明確にするための実践、研究を積み重ねていきたいと思っています。コロナウイルスの感染状況が変化

するなかで、なかなか活動ができなかった合唱団の練習も始まりました。感染対策をし、距離をとりながら練習する子どもたちの清らかな声が聞こえると、WITHiコロナの学校活動がまた新たに始まっていることを感じます。まだまだ試行錯誤の日々は続きませんが、子どもたちの心と心がつながり、マスク越しであってもたくさん笑顔があふれる南部小になるように、工夫しながら学校生活を送っていききたいと思っています。

学年担任制、5年目の今

東部中学校 教諭
学校少年育成委員

林 克己

東部中学校は長野市北部に位置し、全校生徒633名の生徒が主体的に向上心を大切に取り組んでいます。その生徒の活動を全面的にバックアップするため、本校では学級という枠を外し、生徒に寄り添うために実施している『学年担任制』について紹介します。

I 生徒に寄り添う学年担任制

保護者・生徒と学校の連携を図るために

各学年には『窓口担当』という職員がいて、各学級の保護者との連絡を中心に行っています。以前、「学年担任制だ」とどの職員に連絡していいのかわからない」という保護者の声があり、まずは窓口担当に連絡し、その内容に応じて学年職員で対応するように組織の改善を図ってきました。この改善から学年職員で取り組み、学年全体で対応することができ、生徒に寄り添うことができやすくなりました。

II 生徒が主体的に向上するために

各学年では、3つの重点を置いています。
① 生徒の自主自立
各学年の活動の参画について学年生徒が主体的に取り組みむように支援しています。校内では生徒の気づきから校舎の補修作業や校地の有効活用での野菜栽培等

に取り組んでいます。また、地域との連携では、桐原地区に伝わるわら駒づくりを学び伝えたいという生徒の思いから、地域の方と取り組んでいます。

② 学力向上
午後学活の前、生徒自ら家庭学習計画をたてる時間を設けています(プランニングタイム)。この時間では学年職員が、生徒の学習の習慣化することを目指し支援しています。そして、学力の定着度を確認する場(確認テスト)を、定期的に朝や放課後に設けています。多くの生徒が確認テストで定着度をみて、もっと理解を深めようとする姿がありました。

③ 人間関係づくり
生徒自ら思いを語れる場の設定(相談)と、仲間を認め自己肯定感を高められる取り組み(ライフスキル学習等)から、安心安全に過ごせるように学年職員と生徒が協同するように工夫しています。相談では、生徒が相談希望する職員と思いを共有します。学校生活や文化祭等で仲間との共感を深められるよう学年職員が支援しています。

III さらになる向上を目指して

東部中学校で学年担任制を実施して5年目になりました。生徒が主体的に活動することにより、生徒の笑顔が増えてきたように思います。これからも「東部中で生活してよかった」と生徒が思えるような学校づくりに努めていきたいと思っています。



少年育成センターの一年

長野市少年育成センターでは、「青少年健全育成都市宣言」の精神を基盤に、青少年の非行・被害の防止と健全育成にむけて取り組んでいます。



巡回指導環境浄化活動研修会(5/25)

- 1 巡回指導活動として**
少年育成センターによる巡回指導(中心街、地区巡回、夜間、一日少年委員の巡回、学校少年委員の巡回等)と住民自治協議会による巡回指導をしています。
- 2 環境浄化活動として**
青少年に悪影響を及ぼす有害な環境について、巡回活動を通して点検・指導をしています。
- 3 長野市青少年保護育成条例に関することとして**
書店、コンビニ等立入調査等を行います。
- 4 少年相談活動として**
本人や家庭、学校や地域から寄せられる青少年の悩みや非行・被害、生活上の問題に関する相談を受け付け対応しています。

5 広報・啓発活動等

育成センターだよりの発行、中心街巡回指導体験(一日少年委員)の実施、インターネットやSNSに起因する青少年による犯罪・被害防止のための出前講座等を行っています。

6 研修活動等

- 巡回指導活動・環境浄化活動に関する研修会(5月25日)
- 生徒指導・主事・学校少年育成委員合同研修会(小学校)

7月5日

7 関係機関との連携

各地区の青少年健全育成委員や関係者、学校少年委員、学校PTA、公的専門機関と共有する場を設けて、悩みを抱える本人や家族への対応及び関係する周辺環境の改善に協力して臨んでいます。

7月7日

一年間様々な活動が予定される中、6月8日には、

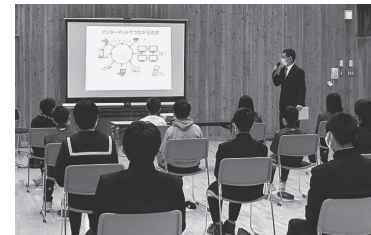
学校少年連絡会が開かれ、関係専門機関16団体が集まり、長野市の青少年の非行・被害防止について検討いただきました。



少年相談連絡会

出前講座の案内

「インターネットやSNS等に起因する青少年による犯罪や被害」を防止するため、地域・学校・PTA・保護者など、関係者を対象とした出前講座など行います。



鬼無里中学校での出前講座(5/13)

昨年度も多く
の要請をいただき
出前講座を行
いました。

一日少年育成委員の活動と委員募集

最近の青少年を取り巻く有害環境の実態や青少年の問題行動の実態の把握をするため、一日少年育成委員として街頭指導等の体験活動を行っています。市民の皆様からの希望者も大歓迎です。

日程

- 7月2日(土) 9月3日(土)
- 10月8日(土) 11月12日(土)

時間

13時30分～16時30分

申込方法

参加希望者は、希望日一週間前までに少年育成センターまで、はがき、電話、ファックス、メールのいずれかでお申し込みください。詳細は、少年育成センターホームページをご覧ください。

★困ったら困る前に★

少年育成センター相談ダイヤルへ

電話 228-8588



月～金曜日 8時30分～17時15分

※匿名でけっこうです

来所の相談にも応じています
心配事があれば話を伺います。

今年は、次の5名の職員で運営します。よろしくお願ひします。

所長 市川 専一郎
課長補佐兼所長補佐 前田 大吾
主任指導主事 小林 寛二
指導主事 中澤 毅一
事務員 吉田 美砂子

編集後記

コロナウイルス感染予防の制限が大分解除され、生活が元にもどつつありますが、約3年にわたったこの新しい生活に慣れつつあります。「慣れ」とは、苦勞せず当たり前にできるようになること。油断せず、それでいて過度に神経質にならずに過ごしたいものです。今年一年よろしくお願ひします。